

令和7年度すくわくプログラム活動報告

江戸川区堀江第二保育園

テーマ「 感 触 」



～さわってみよう!!かんじてみよう!!～

現在、保育園で生活している子どもたちはコロナ禍で生まれ育ち、感染を防ぐため「触る」という行為が制限されていきました。子どもたちは水や砂といった身近なもので夢中に遊ぶ姿があります。そんな子どもたちにもっと様々な素材に親しむことが出来る環境を設定する事で、「なんだろう?」「どんなかんじかな?」と感触を確かめ、物質が変化していく様子に「なぜ?どうして?」と興味や関心を持ち、さらに「こうするとどうなるかな?」「やってみよう!」と探求心につなげられればという思いからこのテーマを選びました。



ブルブル・フニョフニョ きもちいい～

子どもたちの目の前でスライムを作るところからスタート!出来上がったスライムを触って、「つめたーい!」「きもちいい!」と、指先から感じる感触に大喜びでした。

どろどろ? かちかち? やわらかい?

片栗粉に水を入れた片栗粉粘土。
初めての感触に驚いていました。
ぎゅっと握っているのに、すぐにトロトロと形を変える片栗粉の不思議な感触に時間を忘れるくらい楽しんでいました。



「感触」をテーマにして取り組む中で、普段の生活の中ではあまり触ることのないものも触る環境づくりをしてきました。はじめは緊張しながら触る様子も見られましたが、回数を重ねるたびに感触そのものを楽しんだり、触って形が変わることに気づいたりする姿に変わりました。様々なものに触れ、指先や全身で感じ取り「もっとやってみたい!」という好奇心、探求心につながってきています。

これからも感触遊びを通して五感を刺激し、感性を育てていきたいと思えます。

